

「それでも私はこの町で生きていく」



これは、戦争で両親を亡くし、激動の昭和、平成を生き抜き、認知症になりながらも、地域の皆さんに支えられて生きていくことを決心する一人の女性の物語。

～2月5日（火）新得町公民館ふれあいホール～

平成30年度 第4回 新得町権利擁護学習会にようこそお越しくださいました。



私、新得町権利擁護体制整備事業のコーディネーターを務めております、ちいさな手の清野光彦です。

今回の学習会では、町民の皆さんに成年後見制度の必要性を実感していただくために、手作り創作劇「それでも私はこの町で生きていく」をご覧ください。

（はじめに清野さんによる事前学習を行い、成年後見制度の理解を深めてから創作劇を鑑賞しました）

創作劇は第1幕から第8幕で構成されています。第1幕ではシズの生い立ちが語られ、第2幕ではシズとタエが、第3幕では3人の子供が登場し、シズを取り巻く環境が語られました。

第4幕 認知症のはじまり

11月の寒い日。薄着で外に座り込み途方にくれるシズ。同じ町内会で、民生委員でもある石上がそんなシズを見かけ、声をかける。どうやら道に迷ったそうだが、シズの家は目と鼻の先。心配した石上は家まで送り、長男の一夫に地域包括支援センターへの相談をすすめるが、一夫は聞く耳を持たない。



民生委員の石上がシズに声をかける

第5幕 シズの異変・息子の突然死

電話で、泣きながら「足が痛くて歩けない、お金もなくて食べ物もない」と妹のタエに話すシズ。心配したタエは後日、一夫に電話するが「今も晩飯食って寝てるよ。自分が食べたことも忘れるから困ったもんだよ。面倒見するのも大変なんだよ」と真剣に考えようしない一夫。そんなある日、一夫が心筋梗塞で突然亡くなる。

心配したタエが一夫に電話する



一夫の突然の死に悲しみにくれるシズ

第6幕 シズ、訪問販売に騙される

突然の一夫の死に動揺するシズ。家の中はゴミだらけで暗い生活を送る毎日。そんなとき、布団のセールスマンが訪ねてくる。シズは優しく話を聞いてくれる青年を信頼し高額な布団を買ってしまう。見かけない若者が出入りしていることを心配した町内会長の前田が家を訪ねると、シズの首には高価な真珠のネックレスが。違和感を覚えた前田はすぐに地域包括支援センターの大宮に連絡。シズの家を訪問した大宮は明らかにだまされて買った品物を見つけるが、すでにクーリングオフ制度の適用期間は過ぎており、どうにもならない状態であった。



高価なネックレスを付けるシズを心配する町内会長の前田

第7幕 地域ケア会議

シズのこれからのことを考えるため大宮は親族、地域住民、関係機関に声をかけ、地域ケア会議を開く。「お父さんと苦労して建てた家を離れたくない。でも一人でやっていく自信もない」と話すシズの意向を尊重し、自宅での生活を支えるために成年後見制度の利用を提案する出席者。しかし、シズの財産を自由にできると考えた長女的美恵子が後見人に名乗り出て、それを止めようとする次男の二郎とつかみ合いのけんか。

争いを見て悲しむシズだが「自分の人生、両親や夫に胸を張って会えるよう、もう少し頑張ってみよう。成年後見制度を利用して今の生活を続けていきたい！」と決意する。

司法書士 地域包括支援センター 権利擁護コーディネーター 長女的美恵子 民生委員 次男の二郎 わすれん塾担当者 生活支援コーディネーター



CHECK! 兄弟仲の悪い今の状態で成年後見制度を申し立てた場合、第三者が後見人になることが予想されます。第三者後見人とは、弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職後見人、または市民後見人のことをいいます。

第8幕 「それでも、私はこの町で生きていく」

成年後見制度を利用したシズ。裁判所で選任された後見人が担当となり、シズの思いや困りごとを聞きながら生活を支えている。シズがタエと電話で話している。「私ね、今、とっても幸せだよ。たくさんの方が私のことを支えてくれている。物忘れもするし、足腰も痛くて、みんなにも迷惑かけちゃうこともあるけどさ・・・それでも、私はこの町で生きていくって、決めたんだ」

～完～



多くの見守りと支えの中、安心して生活を送るシズ

新得町には、シズさんのように支援を必要とする方がたくさんいます。新得町権利擁護体制整備事業では現在、新たなシステムを構築して成年後見制度の利用促進を図り、支援の輪を広げようとしています。

しかし、専門職後見人は町内には少なく、現状では支援の手が足りていません。そこで重要となるのが、市民後見人の存在です。町は平成31年度から養成講座を行い、町民の中から市民後見人を養成していきます。

新得町には、市民後見人となるあなたの力が必要です。  
(市民後見人養成講座の詳細については今後、広報紙等でお知らせします)

多くのご要望にお応えし、《再公演》が決定！あの感動を再び...

成年後見創作劇（町権利擁護学習会）再公演 5月28日（火）屈足総合会館

見逃した方、もう一度観たい方、ぜひ足をお運びください。（時間等詳細は改めてお知らせします）